

2010年度 入試問題分析シート

東北大学

前期日程

科目

数学(理系)

総括

試験時間	100～150分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	200～400点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<総論>

難易度が上がり,計算量も昨年より増えた。解答に際し,上手な計算処理が要求されるものが多い。

<特記事項・トピックス>

- ・ 証明問題が多かった。
- ・ 行列で「点の移動」の問題が出題された。

<合格への学習対策>

標準的な問題を解く力をつけることはもちろんのこと,やや応用力が必要な問題についても練習しておくこと。普段から問題を解くときに,どうしたら上手に処理できるかを考えながら学習することが望ましい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述式	,	不等式の証明	3次関数の平均変化率に関する証明問題。	やや難
2	記述式	, B	微分,ベクトル	3次関数のグラフと接線の本数,なす角。	標準
3	記述式	A	確率	数の書かれたカードから5枚取り出し,5桁の整数を作るときの確率。	標準
4	記述式	B	ベクトル	空間のベクトルの証明問題。	やや難
5	記述式		微分・積分	回転体の体積と微分。	標準
6	記述式	C	行列	六角形の頂点が頂点にうつる「点の移動」についての証明問題。	難

「問題レベル」は,本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に,問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので,総括の難易度(昨年比)とは連動しません。